

朝日丘

学校だより1月号

氷見市朝日丘3番1号 TEL:74-8422 FAX:74-8423

夢、目標をもつこと

新年明けましておめでとうございます。本年も子供たちの健やかな成長と学力の向上を目指し、教職員一同教育活動に邁進してまいります。今後とも、どうぞよろしくお願い致します。

さて、機会あるごとに、私が子供たちに話していることがあります。それは、「自分で考えて、自分なりの目標をもつ」ことです。大きなものでなくてもよい、一つでも自分自身が考え、やり遂げようとすることを決めてくださいと言っています。

最近「夢」をもつことのできない若者が増えていると言われていています。子供たちにもそのことは当てはまるそうです。「〇〇を続けよう」「〇〇ができるようになろう」といった目標を定めることは、大きな夢をもつための第一歩です。すぐに定めることができなくてもよいのです。「自分の夢、目標について考えを巡らせる」ことがとても重要です。

目標を定め、それに向かって努力する。そして、どのような結果になったかを自分で見定め、目標を変更したり、高めたりしながらさらに努力を続けていく…。「夢は必ず叶う」というお話をされる方（成功を収められた人）は、少なからず上記のようなことを日々繰り返している方だと言えるのではないのでしょうか。

「あなたの夢はなあに？」とお子さんに問いかけたとき、「うーん…分からん！」と返事が返ってきて怒らないでください。また、せっかく考えて、絞り出して夢を伝えるのに、期待が大きすぎて「なんなん その夢…」なんて言葉は決して言わないでください。きっと真剣に考えを巡らせた結果です。子供たちの無限の可能性を大切に育てたいものです。

私の小学校の時の夢は「プロ野球の選手」、中学校の時の夢は「プロの料理人」でした。その時の夢は、叶いはしませんでした。今も「自分なりの夢」に向かって、日々小さな努力を重ねています。いくつになっても「夢」をもち、それに向かって少しでも努力を続けていくことは、とても大切なことではないのでしょうか。機会があれば、「夢や目標」について、親子で話し合ってみてはどうでしょうか。その時には、是非、保護者の方の「小さい頃の夢」、「今の夢（目標）」についても語ってあげてください。そのことが、子供たちが「夢や目標」をもつための大きなヒントになるかもしれません。